

## 平成29年12月定例会 議事録

- ・日 時：平成29年12月7日（木）19：00～20：50
- ・場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者：五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、山崎、吉田  
（計6名）
- ・欠席：なし
- ・進行・記録：大竹

### 《議題》

1. 市民向けフォーラム「金沢らしい公共交通と公共空間とは」（12月2日（土））の報告
2. 金沢市都心軸交通環境整備検討委員会の状況について
3. 関係団体との交流について
4. 新しい交通システムを巡る動向
5. その他

### 《内容》

議題1 市民向けフォーラム「金沢らしい公共交通と公共空間とは」（12月2日（土））の報告と感想

参加者、吉田、黍野、木村、村中、蓮井、大竹

- ・参加者は市議、県議、行政関係者などが多く参加していた。
- ・基調講演のヴァンソン藤井さんの話は良かった参加者も都市交通の基本を理解してくれたのではないかな。
- ・金沢でLRTを考えていること自体30年間遅いのではないかな。
- ・講演ではLRTとBRTの特徴や役割を説明していた。メインストリートはLRTで、サブストリートはBRTで整備していくのが常識的。基幹交通としてのLRTとそれ補保管するBRT。参加者は、システムの特徴や性格、違いについて一定の理解をしてくれたのではないかな。
- ・交通機関の、乗り換えや乗り継ぎの利便性についても指摘していた。
- ・金沢の姉妹都市のナンシー市の事例、ゴムタイヤトラムTVRの紹介と問題点の指摘があった。システムとしてLRTよりも劣るようだ。TVRは新型のトロリーバスともいふべきで、しょせんはバスである。また製造はメーカー一社で。トラブルが相次いだため、現在は製造中止となった。
- ・三井物産が売り込んでいたトランスロールについても製造は一社独占であるため、システムの標準化がされておらず、メンテナンスが不便で全体的にコストが高くなる。

- ・L R T専用レーンをB R Tが走行することについて、ヴァンソン藤井は否定していなかった。
- ・中川先生パネルディスカッションで、武蔵～南町方向の写真画像を紹介していたが、意外と空いていて新交通導入でも大丈夫ではないか。
  - ・金沢で新交通導入の話があるが、朝の通勤時、三馬から香林坊へ向かうとそれほどの渋滞はないので、L R Tでも可能ではないか。
  - ・朝の通勤時で渋滞しているのは武蔵が辻周辺である特に金石街道が合流する地点。
  - ・中山先生は、あまり出番がなかった。本来は都心軸のクルマの車線を減少させるなど重要な研究をされている。今後に期待したい。
  - ・懇親会では、会から唯一黍野氏が参加した。三国先生や毛利氏と懇談した。関係団体が定期的に打合せをし、計画的にかつ連携して取り組みを進めていく必要があるとの認識で一致した。

議題2 金沢市都心軸交通環境整備検討委員会の状況について  
特に進展なし。

議題3 関係団体との意見交換会について

- ・他の交通まちづくり団体、環境や福祉の団体と打合せをしてみようか。
- ・婦人関係団体との意見交換会を検討してみる。

議題4 新しい交通システムを巡る動向  
特に進展なし

議題5 その他

蓮井氏から市内中心部の地下埋設物に関するレクチャーがあった。

次回予定 … 定例会 30年1月11日(木)、19:00～「あいむ」にて